



《メールアドレス》
akito@kdr.biglobe.ne.jp

市議会議員 中野あきと・事務所ニュース

みどりと清流

2007年 9月発行 第67号

日本共産党中野あきと事務所

日野市南平7-6-72 Tel.599-3350

〒191-0041 発行責任者 小山敏正

しんぶん 赤旗

日刊紙1ヶ月 2900円

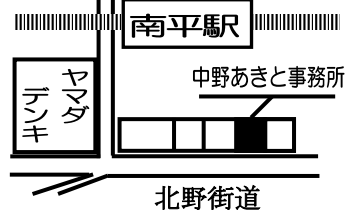
日曜版1ヶ月 800円

お申し込み・南多摩事務所

Tel.042-374-4384

又は中野事務所へ

法律・生活相談など
お気軽にお立ち寄り下さい



◎値上げの内容は・・・

今回の条例「改正」では、国保税の医療分と介護分の税額が同時に引き上げられましたが、65歳以上は医療分だけの引き上げとなっています。

その引き上額は、加入人数による均等割が3,600円、世帯当たりの平等割が1世帯1,400円がそれぞれ引き上げられました。

従って高齢者2人世帯の場合の値上げ額は

$3,600円 \times 2人 + 1,400円 = 8,600円$ となります。

ところが今回の値上げで上げ幅がそれ以上になっているのは、昨年度実施された年金生活者への課税強化が影響しているためです。公的年金控除は、控除の最低額が140万円から120万円に縮小されました。これで、実際の年金収入は増えていないのに、所得は20万円増えた計算になります。例にあげた2人世帯の場合では、更に6,000円の値上げが付け加わっているのです。

高齢者の課税強化は、国保税だけではなく介護保険料にも跳ね返り、まさに「雪だるま」式です。選挙で国会の状況も変わりました。仕方がないと諦めるのではなく、戻し税方式による返還や、国保税、介護保険料の負担軽減制度の拡充の世論を起こそうではありませんか。

年金課税強化とダブルパンチ 国保税、納税通知にビツクリ

六月の住民税増税に続いて、七月に発送された国保税の納税通知を見て「どうしてこんなに上がるのか」という驚きの声が上がっています。今度の値上げは三月市議会で国民健康保険条例が「改正」されて決まったものです。この「改正」をめぐるのは、「国保税の値上げに反対する日野市民連絡会」が結成され、約一ヶ月の短期間に五千筆の値上げに反対する請願署名が市議会に提出されていましたが、市議会与党の賛成で条例「改正」が可決されました。



平山6丁目の公営掲示板と投票所について

中野市議が申し入れ

先月（8月）号で報道したように、平山6丁目にお住まいの方から、6丁目に公営掲示板が無いこと、投票所が平山中に移動したため遠くなったとのご意見が寄せられていました。中野議員が市の選挙管理委員会に事情をただしたところ、◎掲示板については、平山中前に必要となり、道路が狭く安全性が危惧されていた6丁目の掲示板を移動した。◎投票所については特に考えてはいなかった。とのことでした。中野議員は、6丁目に掲示板が無いこと、平山6丁目の公営掲示板が無いこと、投票所が遠くなったことは投票率向上という見地からも問題で、駅前にできる複合施設などを検討すべきだと申し入れを行いました。

法人税減税の結果7年間で33億円の市税減収

99年に景気回復を理由に実施された定率減税が廃止され、その結果、大変な庶民増税になりました。ところが同時に実施されている法人税減税は据え置きのみです。

実は、日野市に入る法人市民税も、法人税減税の影響を受けています。法人税率は1998年、1999年の2年にわたって37.5%から30%へと、7.5%も引き下げられました。法人市民税への影響額を計算すると下記のような結果となります。これを見れば06年度の法人税率が98年以前の水準であったとしたら決算額より7億円も多い38億円の税収になったことになります。2000年から2006年までの7年間で、33億円余の法人市民税が減っていることになります。

2000年度	3.37 億円
01年度	3.59 億円
02年度	2.92 億円
03年度	4.35 億円
04年度	6.55 億円
05年度	5.88 億円
06年度	7.15 億円

短信

先の参院選から一ヶ月余。自公の「歴史的な大敗」の波紋で明け暮れてきました。先行きは不透明ですが、今度は「新しい政治」をどうつくり上げていくのか、私たちに問われています。▼2年前の「小泉劇場」に踊った郵政選挙とは大違い、大きな変化が起きています。《参院「改革派」三分の二割る》（「朝日・東大共同調査」8月7日付・朝日）。《参院自民・民主当選者「改革」修正派が増加》（同26日付）▼貧困と格差問題の根底には、弱肉強食の「構造改革」路線があります。「消えた年金」の根底には、三年前強行した年金制度への怒りがあります。「美しい国づくり」「憲法改正」に共感できないという声は60%以上です（投票直後、TBS系ネットワーク）。自民党の中から聞こえる、消えた年金、政治とカネ、相次ぐ閣僚の暴言の、いわゆる「逆風三点セット」が敗因というだけでは説明がつかない、まさに深部からの動きです。▼選挙の結果を受けて、本格的な論戦が国会で始まりま

す。国民の怒りを先取りして告発してきた日本共産党の役割もますます重要です。（T）

新都市建設公社を舞台にした談合

住民が起こした裁判で地裁が損害賠償命令

談合による損害賠償を、本来行なうべき行政に代わって住民が行い、談合業者に損害賠償の支払いを命じさせる、そんな住民運動の成果がありました。

日野市と町田市が、新都市建設公社（都の外郭団体）に委託発注した下水道工事で、大手ゼネコンが談合で落札価格をつり上げたために、両市が被った損害を賠償するよう求め、日野市などの住民が裁判を起こしました。その結果、東京地裁は七月二十六日、落札業者などに損害賠償を支払うよう命じる判決を下しました。

判決は、個別談合を認定、両市の損害額を契約額の5%として、浅沼組に対して一千万円を日野市に、大成建設など一〇社に二億四千万円を町田市に支払うよう命じました。

多摩地域を舞台にした大手ゼネコンを中心とした談合は、二〇〇一年

一二月、公正取引委員会が摘発し、ゼネコン三四社に対し総額六億九千万円余の課徴金の支払いを命じます。（全社が否認したため審判で現在係争中）。

住民が裁判に踏み切ったのは、この事件で公正取引委員会が情報開示した「課徴金納付命令対象物件一覧」の中に、日野市、町田市の下水道工事に關わる案件が含まれていることを知ったからです。市に損害賠償請求権行使を求める監査請求を行いました。これを両市が棄却したために住民訴訟を起こしたものです。

日野市では区画整理事業、下水道事業で年間二五億円（二〇〇五年度）前後の工事を、新都市建設公社に委託発注しています。あらためて市として事実究明に努める、談合により被った損害の賠償を要求するなど、積極的な対応が求められます。

四四〇万の思い

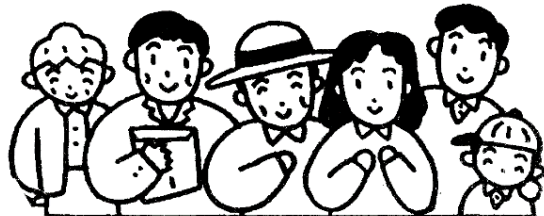
参院選が終わって、鮎つりに出かけた。車に乗り込んだと同時に「今度は共産党に入れたんだけど当選できなかったな」と言われた。するともう一人が「俺は緒方さん（前参議院議員）と同級生だったんだよ。今度は出なかったね」と言った。二人は元上司。職場ではそんな話をしたことが無かったのでうれしかった。妻も「スゴイ！」と。

今回の選挙では議席を残念ながら減らしたが、比例区での得票は四四〇万票で、

前回とほぼ同数であった。出口調査からは一〇〇万人に近い無党派の人や、他党支持の人が共産党へ投票したという。反面、「苦肉の策」で今回は民主党へ入れた支持者の方もいたそうだった。

なにげなく前回と同数か...と思っていたが、その一票一票にそれぞれの思いがあり、期待があり、あるいはためらいをふり払っての一票もあったに違いない。釣友の言葉に四四〇万の共産党への思いと、新たな胎動を感じたのである。

（豊田・日生）



区画整理懇談会（豊田地区）行なわれる

九月一日の午後、豊田下地区センターで一〇四回目となる区画整理懇談会が開かれました。助言者の中野市議より、区画整理に関する決算資料や、区画整理法八九条「照応の原則」に関する資料にもとづき解説、情報提供が行なわれました。

その後、豊田駅前の区画整理の課題や、私道の換地不交付問題について質問があり話し合いが行なわれました。またこの春、改選された豊田南区画整理審議会が、情報公開や審議会運営の面などで改善されている実態も出されました。次回は一月中旬の予定です。

《〇7年10月の無料法律相談》

村松みえ子事務所 午後6時～8時

10月 4日（木）

市役所6階・共産党控室 午後1時～3時

10月11日（木）

※予約が必要ですので、お申し込み下さい。

村松事務所 Tel.582-0504

中野事務所 Tel.599-3350

一斉学力テストで起きた不正

都議会議員 村松みえ子

みえ子の
飛びある記



本来、正しいことを知るべき学校で、校長先生や幾人かの教師が、テスト中に間違いを指で指摘して直させたという報道を知って、多くの方が驚いたのではないのでしょうか。一斉学力テストで学校の成績を上げるために、足立区で起きたできごとです。

こうした先生方の行為はゆるされるものではありませんが、テストの点数を学校ごとに公表し、教育予算の配分に影響させようという学力テストのあり方が問題です。

私は、6月の都議会で、東京の異常な競争教育、東京都だけが実施していない少人数学級、校舎の耐震化、小・中学校の教室の冷房化の問題をとり上げ質問を行ないました。ですからこの事件は、本当に残念でなりません。改めて都の教育のあり方を見直し、行政が力を入れてやるべき教育環境の整備に、都はもっと予算を振り向けなくてはなりません。

9月議会も始まります。どうぞ傍聴にお出かけ下さい。

（6月議会での私の質問の全容を、近々パンフにまとめます。ぜひ、お読み下さい。ご希望の方は私の事務所か中野事務所にお申し出下さい。）